

第15回 糸魚川市教育委員会定例会会議録

- 1 日時 令和5年11月24日(金) 10時から
- 2 会場 糸魚川市役所 201・202会議室
- 3 出席委員 教 育 長 齋藤 修一
教育長職務代理 谷口 一之
委 員 齋藤 里沙
委 員 山本 修
委 員 楠 愛
- 4 委員以外の出席者
教育次長 磯野 豊
こども課 課 長 嶋田 猛 課長補佐 室橋 淳次
係 長 関澤 仁 係 長 飛弾野 郁
こども教育課 課 長 古川 勝哉 参 事 小川 豊雄
課長補佐 川原 隆行 係 長 植木 靖英
生涯学習課 課 長 山本喜八郎 主任主事 大西かおり
文化振興課 課 長 嵐口 守 課長補佐 榊 正喜
博物館 館 長 竹之内 耕
書記 こども課主査 上原 奈穂
- 5 報 告
報告第 37号 感染者の確認に伴う休校等について
報告第 38号 糸魚川市子ども・子育て会議委員の委嘱等について
報告第 39号 各課・機関所管事項について
- 6 協 議
協議第 6号 「第4次糸魚川市親子保健計画」素案について
協議第 7号 「第3次糸魚川市生涯学習推進計画」素案について
協議第 8号 「第3次糸魚川市子ども読書活動推進計画」素案について

7 付議案件

議案第 56号 令和4年度の教育に関する事務の点検及び評価について

議案第 57号 令和5年度糸魚川市一般会計教育費等補正予算（第5号）に関する意見の申出について

8 会議録署名委員の指名 2番 齊藤委員

9 傍聴者 1人

教育長

令和5年第15回教育委員会定例会を開会する。

報告第37号感染者の確認に伴う休校等について、事務局の説明を
求める。

こども教育課長

（資料に基づき説明）

糸魚川中学校1年生1組から4組が、明日25日土曜日から28日火
曜日までの4日間、インフルエンザ様疾患により学級閉鎖を行うと
の連絡が今朝あったので、追加で報告する。

教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

山本委員

インフルエンザ同様、プール熱が流行っているとのマスコミ報道
があったが、市内の状況はどうか。

こども課長補佐

市内でプール熱は確認されていない。

教育長

ほかにご質疑はないか。

委員

（「なし」の声あり。）

教育長

質疑なしと認め、報告第38号糸魚川市子ども・子育て会議委員の
委嘱等について、事務局の説明を求める。

こども課長

（資料に基づき説明）

教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

委員

（「なし」の声あり。）

教育長

質疑なしと認め、報告第39号各課・機関所管事項について、事務
局の説明を求める。

こども課 所管事項報告

こども教育課 所管事項報告

生涯学習課 所管事項報告

文化振興課 所管事項報告

図書館 所管事項報告

博物館 所管事項報告

市民会館 所管事項報告

生涯学習課長

9月定例会で楠委員から全国水産・海洋高等学校ダイビング技能

コンテスト大会出場者への報奨金について質問があった。海洋高校の生徒が出場し、優勝をしたが、報奨金の対象にならないかとの質問だった。大会要項を確認したところ、この全国大会は予選会等がなく、報奨金交付要綱に該当しないため、対象にはならなかった。

教育長
楠委員

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

食物アレルギー対応意見交換会でアレルギー対応の情報共有が行われるとのことだが、上越市でアレルギーの事故が発生し、教員に対して研修会を開催したとの報道があった。当市でも私事ととらえて、学校職員に対応方法等をしっかり指導してもらいたい。

こども教育課長

食物アレルギー対応意見交換会では上越市の事故を踏まえて、糸魚川市の実態に合った対応の方策について、現在のマニュアルがしっかりと徹底されているかどうか、事故防止のために改善するところがないかを検討する。それを踏まえて、マニュアルの改訂を教育委員会で行いたい。また、少し先になるが、2月9日に食物アレルギーの対応研修会を医師を招いて、管理職、栄養職員、給食時に子どもたちに対応する担任を対象に行う。子どもたちの命に関わることなのでしっかりと対応していきたい。

齊藤委員

教育長の特別講話が公立園職員を対象として開催されたが、こういった直接の機会はとてもいいと思う。普段は園長会議等の内容を園長から職員に伝達すると思うが、ニュアンスが変わって伝わることもある。こういったことを私立園の保育士に実施することは行政として可能か。

こども課長補佐

今回は公立園職員を対象に実施をしたが、同じ市内の幼稚園、保育園の保育士という点では、私立園を含めた開催は可能だと思う。今後こういった形で開催できるか、私立園の意向も確認しながら検討したい。

齊藤委員

当市における私立園は、全国的に見る私立園と少し異なる。全国的に見る私立園は特色ある保育をしていて、選択して入園するが、当市では一番近いのがこの園だからと距離で選ぶことがほとんどだと思う。保育における大切なところは、行政からしっかりと統一して伝えてもらいたい。市全体の子どもに関わることなので、私立園も含めて同じことを伝えてもらいたい。

こども課長補佐

保育は私立園で行っていても、その責任は市が持つ。市としての教育方針、保育方針は私立園の職員にも理解して、実施してもらう必要がある。今後検討したい。

山本委員

音楽発表会を見させてもらった。保護者も来場して、自分の子どもだけでなく、他校の子どもの演奏を聴く機会があることはとても良かった。小中特別支援学校音楽発表会となっているが、特別支援学校の発表がなかった。学校事情や子どもの状態もあると思うが、

特別支援学校の児童が一生懸命発表する姿を健常児や保護者が見られることはとても意義があることだと思う。今後もそういう機会があると良い。ほかに、ジオパーク学習交流会に参加したが、ワンアースの長谷川さんの話が、小学生にも分かりやすく、とても良かった。一般の方も来場して、子どもたちの学習の様子を見てもらえる機会があることはとても良かった。

もう1点、いじめの状況について話をしたい。今現在の認知件数を見ると令和3年度を上回ることが予想される。積極的にいじめを認知して市教委に報告している結果だと考えるが、そのことでつらい思いをしている児童生徒がいることは事実であり、適切な対応ができるように各学校に指導、支援をしてもらいたい。いじめ認知件数と、その対応状況を見ると、昨年度以前からの継続事案で取組中がまだ12件もある。解消に至るにはなかなか難しいと思うが、弁護士や学校問題解決支援チーム、そういったものを活用しながら解消へと向かってもらいたい。

こども教育課長

校長会で毎月、いじめの報告やポイントについて指導をしている。また、生徒指導主任、生徒指導主事等においては、研修会や情報交換会において担当指導主事が対応や積極的な認知、早期対応及び丁寧な対応について、毎回指導をしている。昨年からの継続事案はなかなか減らないが、支援チームも含め、スクールロイヤー等を活用しながら早期解決に向けて取り組みたい。

谷口委員

11月16日の長岡の視察や20日の不登校対応市外視察に行ってきた。当市も不登校や不登校傾向が増えていて、市として考えていかなければならない。太田小中学校は子どもが少なくなり、地域の方の思いもあり、現在は学区外区域から生徒を受け入れている、地域の子どもは2人しかいない。地域外の子どもが増えていることは、地域にとってはいいこともある。当市もそういう傾向にある地域は考えていかなければならない。

フリースクールも視察をしたが、不登校傾向の生徒も高校に行きたい、高校で勉強したいということで、中学生が多く通っているとの話があった。これからはそういう子どもが通える場をいろいろな施設を活用したり、工夫をして作っていくことが大事だと考える。ぜひ、みんなで知恵を出して、教育委員会全体で考えていきたい。

教育長

教育委員会という立場から様々な取組を直接見てきた。成果や課題など情報収集した内容を整理し、今後の検討委員会にしっかりつないでいきたい。今回の視察は、貴重な情報提供、情報収集になったので、ぜひ生かしていきたい。取組の方向性については、皆さんと協議をしながら、方向を定めて進めていきたいので、積極的にご提言、ご意見、ご指導等があればお聞かせいただきたい。

齊藤委員

「いのちのお話し」に参加した。親子で聞くことに意義があった。

親子で聞くことで家庭に帰ったときに話ができたり、何か困ったときに親に相談することができたり、そういう関係を育むことができる。講師は学校では3、4年生に話をすることが多いと言っていたが、内容は年中児も低学年の子どもも理解をしていた。早すぎることはないと感じた。この事業は継続して、必要な家庭に届くようにしてもらいたい。

生涯学習課長

昨年も大変好評で今年も実施したが、大好評だったと聞いている。来年以降も考えていきたい。

谷口委員

スポーツ協会の講演会に参加した。講師は当市出身で、長年ハンマー投げの選手だった方で、アダプテッドスポーツは高齢になっても、障害があっても、ルールを変えたり、やり方を工夫すれば、みんなと一緒にできるという内容の分かりやすい話だった。女性の参加が多く、男性より女性の方が健康に気を付けていると感じた。たくさんの方が積極的に参加して自分の体や健康を考えていた。地域で教える、伝える立場の方の参加が多く見られたので、市内に広がっていくと嬉しい。こういう機会がまたあるといい。

教育長

ほかにご質疑はないか。

委員

(「なし」の声あり。)

教育長

質疑なしと認め、協議に入る。

協議第6号「第4次糸魚川市親子保健計画」素案について、事務局の説明を求める。

こども課親子健康係長

(資料に基づき説明)

教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

委員

(「なし」の声あり。)

教育長

質疑なしと認め、協議第7号「第3次糸魚川市生涯学習推進計画」素案について、事務局の説明を求める。

生涯学習課長

(資料に基づき説明)

教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

楠委員

計画を見ると範囲がとても広い。範囲が広いからこそいろんな世代にリーチする可能性を秘めているが、私たちのような30代前後の現役世代はなかなか参加できないと記載があった。キャンプの講座に参加をしたが、子どもに対しては教育で、大人に対しては生涯学習として学べる部分がたくさんあった。二世帯を意識して講座を持つことで、子育て世代にも学べる場がたくさん出てくる。介護のことや高齢者のことに対しても、高齢者と私たち世代といった二世帯で関連した学びができるのではないか。

生涯学習課長

親子を対象とした事業はあるが、例えば介護の講座で親世代と30代とかそういう世代の方をつなぐものは確かに計画にない。貴重なご意見をいただいたので、そういった視点でも考えたい。

楠委員

講座によって対象者を意識すると、もっと世代を超えた参加がで

教育長 きるのではないか。

齊藤委員 両方の世代にメリットになるメニューが含まれると非常に有意義で効果的ではないかという提言だった。目的や意味も含めて、取り組む事業に積極的に入れてもらいたい。

教育長 親子保健計画の「外遊び、集団遊びの推進」の記載に、「自然環境を生かした遊びが親世代から子世代へと受け継がれるよう支援します」とあるが、親世代でも川遊びが駄目だと言われていた世代が今はいて、親世代から子世代へ、そもそも受け継げない外遊びが存在している。今の親世代より前の世代を含めて一緒に学んでいくことが生涯学習の視点でできるのではないか。親世代から子世代ではなく、親世代を含んで一緒に学ぶ、一緒に体験することか生涯学習ではできる。そういった可能性を期待して計画を策定してもらいたい。

教育長 ほかにご質疑はないか。

委員 (「なし」の声あり。)

教育長 質疑なしと認め、協議に入る。

生涯学習課図書館係主任主事 協議第8号「第3次糸魚川市子ども読書活動推進計画」素案について、事務局の説明を求める。

教育長 (資料に基づき説明)

山本委員 今ほどの説明について、ご質疑はないか。

教育長 計画案の学校の記載に特別支援学校を追加してもらいたい。

委員 ほかにご質疑はないか。

教育長 (「なし」の声あり。)

教育長 質疑なしと認め、付議案件に入る。

ここで、会議を始め、長時間が経過したことから、暫時休憩とする。

休憩を解き、会議を再開する。

ここで付議案件の進行についてお諮りする。議案第57号は市議会の議決を経るべき議案であるため、非公開としたい。これにご異議はないか。

委員 (「異議なし」の声あり。)

教育長 異議なしと認め、議案第57号は非公開とする。会議日程の順序を入れ替え、次回教育委員会定例会開催日予定、その他の後としたいが、これにご異議はないか。

委員 (「異議なし」の声あり。)

教育長 異議なしと認め、今ほどの決定のとおり進める。

教育次長 議案第56号令和4年度の教育に関する事務の点検及び評価について、事務局の説明を求める。

教育次長 (資料に基づき説明)

教育長
委員
教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。
(「なし」の声あり。)
ご質疑なしと認め、採決に入る。

委員
教育長

議案第56号について、ご異議はないか。
(「異議なし」の声あり。)
異議なしと認め、承認する。

原案のとおり承認

教育次長

次回教育委員会定例会開催
令和5年12月22日(金) 16時から
その他 特になし

教育長

これより非公開とする。

議案第57号 **原案のとおり承認**

教育長

これより非公開を解く。
以上で、令和5年第15回教育委員会定例会を閉会する。

11:52 終了